

スノーシューMAP

スノーシュー

西洋かんじきのことで、雪上を沈むことなく歩くことができる道具です。高度なテクニックが必要なく、子どもからシニアまで比較的簡単に扱うことができます。冬場の健康づくりやウィンターアクティビティ、自然散歩など様々な楽しみ方があります。

冬のグリーンスポーツでは、ビギナー向けのスノーシューコースを設定しています（常時整備・圧雪されている訳ではありません）。ご自身の体力や天候状況を見ながら、余裕をもってお楽しみください。また、木々の枝に雪が多く積もることがあります。落雪や枝折れの危険もあるので、頭上にもお気を付けください。

コース以外の場所も歩くことはできますが、場所によっては、急斜面や池沼、陥没箇所などの危険なポイントもあります。コース外を歩く際には、十分に気を付けながら、自己責任でお楽しみください。

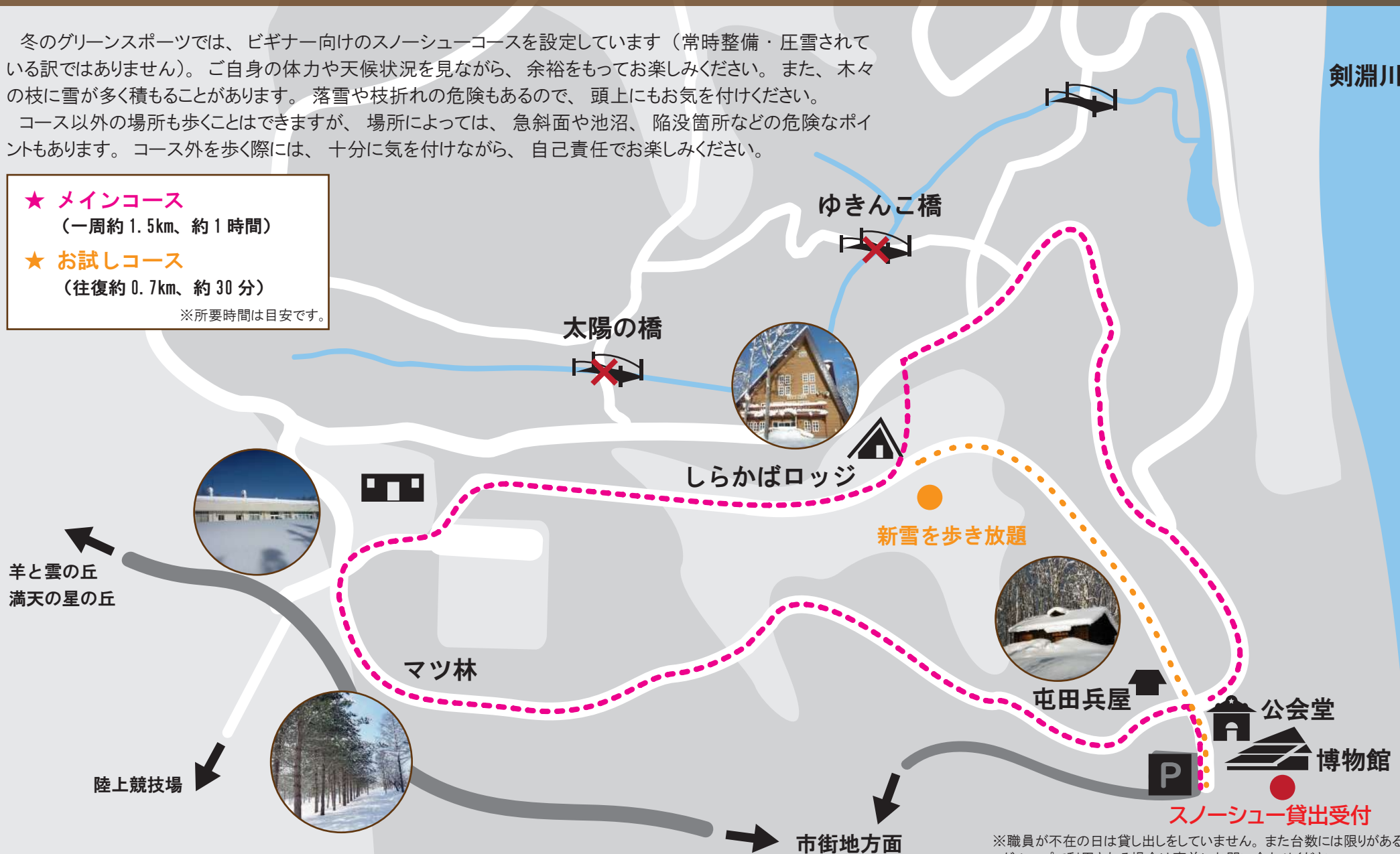
★ **メインコース**

（一周約 1.5km、約 1 時間）

★ **お試しコース**

（往復約 0.7km、約 30 分）

※所要時間は目安です。



羊と雲の丘
満天の星の丘

陸上競技場

マツ林

太陽の橋

ゆきんこ橋

しらかばロッジ

新雪を歩き放題

屯田兵屋

公会堂

博物館

スノーシュー貸出受付

市街地方面

剣淵川

グリーンスポーツ（博物館周辺）

冬の自然観察ガイド

木々が青々と生き茂り、動物たちが活発に動き回る夏と比べると、冬の森は静かで、見所が少なく感じますが、降り積もった雪が作り出す景色や雪上に残された足跡など、冬ならではの自然もあります。また雪が地面を覆っているため、夏には笹藪で歩くことができなかった場所も、自由に歩くことができます。北国の冬は人が暮らす上では苦勞も多いですが、冬の自然に触れることで、この地域での生活を楽しんでもらえたらと思います。

※注意：他所の敷地や田畑には、無断で立ち入ることはやめましょう。

樹木観察

冬は葉が生い茂っていないため、樹木の様子を観察しやすい季節です。厳しい冬の寒さに耐え、芽吹きへの準備をする様子を見ることができます。

冬芽（とうが・ふゆめ）

春になって、花や葉になる部分のこと。冬の厳しい寒さに耐えながら、春に備えています。ウロコにおおわれたものや毛が生えているものなどがあります。



葉痕（ようこん）

葉がついていたところに残る跡のこと。木の種類によって様々で、動物の顔に似ているなど、ユーモラスな模様になっています。



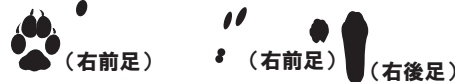
木の実・タネ



アニマルトラッキング

白く積もった雪の上では、動物の足跡や食べ跡、フンなどが見つけやすく、普段はなかなか見ることのない動物たちの存在を感じやすくなります。

足跡



食痕



バードウォッチング

冬の野鳥は、夏鳥が去って種類は少ない一方で、葉が生い茂っていないために鳥の姿を目で追やすく、観察しやすいシーズンでもあります。カラ類が群れになって移動する様子や冬鳥を見られることがあります。



博物館では自然観察用の双眼鏡を貸出しています。